



## 2019年度 千葉県知的障害者福祉協会 定期総会開催

日時..令和元年5月8日(水) 会場..ホテルグリーンタワー幕張

2019年度の千葉県知的障害者福祉協会会員事業所は、新たに10事業所が加わり322事業所で、総会当日は174事業所（委任状115事業所）の参加となりました。でい・さくさべ濱本典子氏の総合司会で会が進行され、冒頭、里見吉英会長からのあいさつで、障害福祉施策等の動向についての説明がありました。最初にゴルденウイークの10連休についてふれ、私たち福祉事業所はご利用者の不利益にならないように連休でもご利用者の生活を考えて支援にあるのが私たちの仕事であり、使命もあることに対してもう一つの言葉がありました。

次に以下の2点の注目点について説明がありました。

1、報酬改定の検討会が定期的に行われるようになつた。今まで前年度の実態調査から報酬改定が決められていたが、近頃は毎年の実態調査でどこを削減してどこを考えていこうかと議論されるようになつた。

2、社会福祉法人の在り方検討会が厚生労働省で行われている。現在全国で社会福祉法人

### ○福祉現場状況

人材確保については、全国的に人材が不足しております、何とかイメージアップをしていかなければいけない。学生の目が向くように、人材のプロにも協力を仰ぐ必要があり、待つているだけではダメである。人材不足から経営難になつたり減算対象になつてしまふことにも繋がる。また、入職しても教育をしつかり

数は20,300あり、さらに年間約150増えている。なぜ在り方検討会が行われるかというと経費をいかに削減するかを検討するためである。他の企業は、合併することで経費削減をしているが、福祉業界ではタブーとされてきた。しかし、スケールメリットを活かした運営を促す考えがある。今までも合併を行つてあるところはあるが、原因としては①経営が成り立たない②人材不足③オーナー（理事長）の後継ぎがないなどの3点が理由にあげられる。

第72号 (二〇一九年七月号)	発行日 令和元(二〇一九)年七月二十日
発行者 里見吉英	編集者 畠山正昭・菅谷大輔・秋山直樹
発行所 千葉県知的障害者福祉協会 (本部) 千葉市中央区中央四一三一五 カンガルービル四F B	編集者 畠山正昭・菅谷大輔・秋山直樹
TEL 043(224)5721	TEL 043(224)5721
HP <a href="http://www.chibachitaki.com/">http://www.chibachitaki.com/</a>	HP <a href="http://www.chibachitaki.com/">http://www.chibachitaki.com/</a>
Tel 047(457)1462	Tel 047(457)1462

### 目次

- 2019年度 千葉県知的障害者福祉協会定期総会開催
- 2018年度合同就職説明会「福祉ライフルフェ」
- 2019年度新任職員（新卒）研修会報告
- 新事業所紹介
- わが施設の自慢・アピールポイント
- 千葉知協トピックス
- 事務局だより・編集後記

やつていかなければいけない状況であり、悪循環から虐待などに繋がる恐れがある。

また、人材確保に向けて働き方改革も始まっており、有給休暇5日取得が原則となつた。

職員に対して仕事の差別化、仕事の説明をしつかり行う必要がある。

次期報酬改定に向けた検討課題について厚生労働省への働きかけは、日本知的障害者福祉協会と千葉県知的障害者福祉協会それぞれで行つていく。今回、関東地区知的障害者福祉協会に以下の要望書を提出している。(平成30年12月5日)

関東地区知的障害者福祉協会会长政策担当者会議にて検討)

## 1、次期報酬改定に向けた検討課題

- ①サービスの質を踏まえた報酬単位の設定
- ②客觀性・透明性の高い諸情報に基づく報酬改定
- ③就労継続支援A型と放課後等デイサービスにおける送迎加算
- ④身体拘束の適正化について
- ⑤就労移行支援における支援内容の実態把握と今後の対応
- ⑥共同生活援助における個人単位で居宅介護等を利用する場合の経過措置の取り扱い
- ⑦計画相談支援・障害児相談支援のモニタリング実施標準期間等について
- ⑧医療的ケア児者について

## 2、消費税増税について

## 3、その他

千葉県社会福祉事業団の在り方検討委員会の立ち上げと話し合いは行われている。議題としては、①存続について、②役割について民間に分散していくのか検討をされている。

協会の顧問弁護士である、石塚弁護士より平成30年度の会員施設からの相談受付状況について講演いただきました。



協会顧問弁護士  
石塚法律事務所 石塚 英一 氏

## 協会顧問弁護士による 状況等報告と課題整理

首都圏は入所施設が減り、グループホームは増えているが、重度の方の行き場がない状況である。また、通所部門の保護者の高齢化が進んでおり、通所をされている方の居住場所がない状況である。グループホームではなく、施設入所が必要な方がいる中で、現状は短期入所ロング利用も行われている。

高齢65歳問題については厚生労働省の見解としては、当事者の判断で介護保険又は障害福祉の制度を選択してもらうことが望ましいとある。

総会の各議案の進行においては、会場より選出された山之内俊雄議長(大利根旭出福祉園)により円滑に審議が進められ、平成30年度事業報告及び決算報告(平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案))が、千日清事務局長をはじめ、各部会長と各機能別委員会によって説明がなされ、原案どおりに承認されました。

## ○最後に

8月にグループホームの全国大会が千葉で開催されますのでご協力依頼と、千葉県知的障害者福祉協会として自覺を持って1年間ご尽力いただきたいと呼びかけがありました。

総会の各議案の進行においては、会場より選出された山之内俊雄議長(大利根旭出福祉園)により円滑に審議が進められ、平成30年度事業報告及び決算報告(平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案))が、千日清事務局長をはじめ、各部会長と各機能別委員会によって説明がなされ、原案どおりに承認されました。

詐欺的な無料求人広告の掲載について、人材不足を狙つてそのような勧誘が多い、強硬な取り立ての電話がくるが、言われるままの対応はせずに電話であればはつきりと対応をしても大丈夫。でも十分に注意してくださいと説明がありました。

保護者様からのクレームに関しては、受け止めて誠意を持つて対応する必要があります。しかし、あまりにも威圧的な態度や要求に対しても反論しても良いと思います。と丁寧に説明がありました。その他にもさまざま難しいケースの相談内容を丁寧に説明されました。

今回の総会を受けて、めまぐるしく変化する福祉業界について理解するとともに利用される方々の環境を守ることの重要性を改めて考える機会となりました。

社会福祉法人かずさ萬燈会  
木更津中郷丸

施設長 小沢 太

## 2018年度合同就職説明会「福祉ライブカフェ」



南部よもぎの園パフォーマンス

2019年3月3日（日）、千葉県知的障害者福祉協会が主催する合同就職説明会「福祉ライブカフェ」が開催されました。昨年に続き、千葉中央駅に隣接する京成ホテルミラマーレの会場に、千葉県内の障害者福祉にかかる42法人が集まつたこの説明会ですが、今年は今までとは一味違つた内容での開催となりました。

福祉業界での人材不足がクローズアップされることが多い昨今、学生達に障害者福祉の魅力を伝え就職へと結びつけてもらうために、人材確保特別委員会では一つの挑戦を始めました。

「学生にとって魅力的な就職説明会を作りました。」という考えのもと、「福祉ライブカフェ」の企画・運営を学生と一緒に行つたのです。

参画してくれたのは、千葉商科大学人間社会学部勅使河原研究室の学生達。毎月1回の会議会を重ねるなかで、学生達自身が導き出したのでは①ステッキを脱いだ。②私服で！③障害者本人に会える！④現場の本音や人事の本音を聞ける！⑤という3つのグラウンドルールでした。

求職者も法人職員も、就職活動の代名詞ともいえるスースを脱いだ姿は、肩肘をはらずに福祉の仕事をつづいてフランクに話をしあえる雰囲気を



福祉ライブカフェ会場

2018年12月に行われた本協会主催の「さわやか芸能発表会」にて最優秀賞に輝いた南部よもぎの園さんによる迫力あるパフォーマンスや、採用担当者と学生の本音が飛び交つたトータルセッションなど、学生達が企画・運営した「福祉ライブカフェ」の会場は熱気に溢っていました。

最後に、嬉しかった声をもうひとつだけお伝えさせていただきたいです。「ぜひまた来年も来て頑張りたいなあ。」と言つてくれたのは、カフェ・体験ブースで学生達の応対をしてくれた障害者の方でした。この就職説明会が、学生や職員だけではなくて障害者本人にとつても楽しめる、やりがいのあるものになつていたんだと気づかされた一言です。

今年度は、引き続き課題として残つている集客を増やすため、企画段階から参画してくれる学生や大学の研究室を増やしていくとともに、求職者に対して広く周知徹底が図れるよう、委員一丸となつて改善を図つていきます。

「スースになつてしまふと堅苦しい感じになるので、私服で気軽に話を聞くことができるよかったです。」といった意見や、「障害者本人のパフォーマンスが会場を盛り上げていた。」「会場内の雰囲気がとてもよかつた。」等の前向きな声を沢山いただいています。また、企画・運営から関わってくれた学生達からは、「企画会議の場所が、協会に加入している色々な施設で開催されたことで、とても勉強になつた。」「障害者福祉も面白いかも！？」と思うことができた。」「また来年もやつてほしい。」「ただの就職説明会に参加するだけでは築けないような関係性を、一緒に運営した職員さん達と築くことができた。」「また来年もやつてほしい。単純な就職ということだけにフォーカスしたイベントではなく、障害者福祉の魅力を次世代の若者達に伝えたい」という思いのもとに始まつた今年の「福祉ライブカフェ」。こうした声はその思いでに対するひとつめの成果ということが言えるのではないでしょうか。

最後に、嬉しかった声をもうひとつだけお伝えさせていただきたいです。「ぜひまた来年も来て頑張りたいなあ。」と言つてくれたのは、カフェ・体験ブースで学生達の応対をしてくれた障害者の方でした。この就職説明会が、学生や職員だけではなくて障害者本人にとつても楽しめる、やりがいのあるものになつていたんだと気づかされた一言です。

今年度は、引き続き課題として残つている集客を増やすため、企画段階から参画してくれる学生や大学の研究室を増やしていくとともに、求職者に対して広く周知徹底が図れるよう、委員一丸となつて改善を図つていきます。

## 2019年度新任職員（新卒）研修会報告



「おはようございます！」と元気の良い挨拶を交わしながら、研修会場となつた鴨川市にあるホテル三日月にフレッシュな顔ぶれが集まり、6月18日、19日の1泊2日の日程で千葉県知的障害者福祉協会が主催する新任職員研修会が開催されました。今回は、98名が参加され県内の各事業所から、将来を期待された新任職員の方々が研修に臨まれました。また、この研修は仕事に就いて間もない新任職員の専門知識と支援技術の習得、そして日頃の業務上の悩みを共感し職員間の交流を図ることを目的としています。その為、参加者は真剣な眼差しで社会人として各法人を代表する立場も踏まえており、研修を受けられる姿は緊張感に包まれていました。

初日の講義では、まつど育成会 統括施設長の早坂氏より「仕事の基本！支援者に求められること」をテーマに研修が始まり、社会人としての心構えからプロ意識を持つて仕事に取り組む重要性や目標設定の大切さ、更に仕事は人と人とのつながりであり一生涯を通じた学びの場でもあるという今後の大きな支柱となる心に響きました。

続いて、「先輩職員から学ぶ」では、地域生活支援センターふ

らの河野氏から、個別支援における目標設定の重要性、更に福祉のポジティブ3K（感謝・感動・感激）がこの仕事のやりがいと魅力であることについて熱く魂のこもった話をいただきました。



大久保学園  
共同生活援助事務部係長の江澤氏からは、入社して数ヶ月の新任職員の皆さんを感じている率直な気持ちを通して、今後仕事と向き合う上での気持ちの在り方や自分自身が成長できた経験を踏まえながら、現場目線の話をいただきました。

午後からは、福祉協会事務局長の千日氏より「千葉県知的障害者福祉協会・組織及び活動について」の説明がありました。福祉協会の歴史をはじめ、加盟している施設数の多さと参加者が自身が協会の一員であり、改めて身の引き締まる思いを実感する機会となりました。

初日の最終講義では、「福祉職員としての接遇を学ぶ」をテーマに、ぜんち共済（株）の倉持氏と（株）永田事務所 ファイナンシャルプランナーの八木氏の講義では、様々な事例を考察しながら対応方法について的確且つ丁寧に説明をしてくださいました。

そして、夕食における意見交換会では、グループ行動を基本とした様々な事業所の仲

間と情報交換を行い、更に普段は関わることの少ない施設長やスタッフから貴重なアドバイスをいただきました。

2日目は、「知

的障害のある方への支援」新任

職員の心構えと実践」をテーマに、和泉短期

大学 教授の鈴木敏彦氏より講演をいただきました。特に、障

害者権利条約に関する理解や支援者として虐待防止に努める重要性、更に利用者の意思決定支

援について、時折ユーモアを交えながらの講義は、とても分かり易い内容でした。

そして、午後からは「どんな支援者になりたいか、あなたの目指す支援者像、利用者と接してすること」をテーマにグループ討議が行われ、

今回の研修から学んだことを交え、KJ法を使つてグループの意見をまとめ上げていきました。

その後、グループ毎の発表に移り、皆が協力し合ったチームとしての結論を導き出していく姿が随所に見られ、これから障害福祉専門職を担う一員としての自覚と覚悟が伝わってきました。

最後に、今回の新任職員研修会は講師の皆様や協力委員をはじめとするスタッフのご協力によ

り無事に終了することができました。そして、

将来の障害福祉を担う参加者の皆さんのが今後の

ご活躍を願い、ご報告とさせていただきます。

間と情報交換を行

い、更に普段は関わることの少

ない施設長やスタッフから貴

重なアドバイスをいただく機会となりました。

2日目は、「知的障害のある方への支援」新任

職員の心構えと実践」をテーマに、和泉短期

大学 教授の鈴木敏彦氏より講演をいただきました。特に、障

害者権利条約に関する理解や支援者として虐待

防止に努める重要な性質、更に利用者の意思決定支

援について、時折ユーモアを交えながらの講義は、とても分かり易い内容でした。

そして、午後からは「どんな支援者になりたいか、あなたの目指す支援者像、利用者と接して

すること」をテーマにグループ討議が行われ、

今回の研修から学んだことを交え、KJ法を使つて

てグループの意見をまとめ上げていきました。

その後、グループ毎の発表に移り、皆が協力し

合ったチームとしての結論を導き出していく姿が

随所に見られ、これから障害福祉専門職を担う

一員としての自覚と覚悟が伝わってきました。

最後に、今回の新任職員研修会は講師の皆様

や協力委員をはじめとするスタッフのご協力によ

り無事に終了することができました。そして、

将来の障害福祉を担う参加者の皆さんのが今後の

ご活躍を願い、ご報告とさせていただきます。

間と情報交換を行

い、更に普段は関わることの少

ない施設長やスタッフから貴

重なアドバイスをいただく機会となりました。

2日目は、「知的障害のある方への支援」新任

職員の心構えと実践」をテーマに、和泉短期

大学 教授の鈴木敏彦氏より講演をいただきました。特に、障

害者権利条約に関する理解や支援者として虐待

防止に努める重要な性質、更に利用者の意思決定支

援について、時折ユーモアを交えながらの講義は、とても分かり易い内容でした。

そして、午後からは「どんな支援者になりたいか、あなたの目指す支援者像、利用者と接して

すること」をテーマにグループ討議が行われ、

今回の研修から学んだことを交え、KJ法を使つて

てグループの意見をまとめ上げていきました。

その後、グループ毎の発表に移り、皆が協力し

合ったチームとしての結論を導き出していく姿が

随所に見られ、これから障害福祉専門職を担う

一員としての自覚と覚悟が伝わってきました。

最後に、今回の新任職員研修会は講師の皆様

や協力委員をはじめとするスタッフのご協力によ

り無事に終了することができました。そして、

将来の障害福祉を担う参加者の皆さんのが今後の

ご活躍を願い、ご報告とさせていただきます。

間と情報交換を行

い、更に普段は関わることの少

ない施設長やスタッフから貴

重なアドバイスをいただく機会となりました。

2日目は、「知的障害のある方への支援」新任

職員の心構えと実践」をテーマに、和泉短期

大学 教授の鈴木敏彦氏より講演をいただきました。特に、障

害者権利条約に関する理解や支援者として虐待

防止に努める重要な性質、更に利用者の意思決定支

援について、時折ユーモアを交えながらの講義は、とても分かり易い内容でした。

そして、午後からは「どんな支援者になりたいか、あなたの目指す支援者像、利用者と接して

すること」をテーマにグループ討議が行われ、

今回の研修から学んだことを交え、KJ法を使つて

てグループの意見をまとめ上げていきました。

その後、グループ毎の発表に移り、皆が協力し

合ったチームとしての結論を導き出していく姿が

随所に見られ、これから障害福祉専門職を担う

一員としての自覚と覚悟が伝わってきました。

最後に、今回の新任職員研修会は講師の皆様

や協力委員をはじめとするスタッフのご協力によ

り無事に終了することができました。そして、

将来の障害福祉を担う参加者の皆さんのが今後の

ご活躍を願い、ご報告とさせていただきます。

間と情報交換を行

い、更に普段は関わることの少

ない施設長やスタッフから貴

重なアドバイスをいただく機会となりました。

2日目は、「知的障害のある方への支援」新任

職員の心構えと実践」をテーマに、和泉短期

大学 教授の鈴木敏彦氏より講演をいただきました。特に、障

害者権利条約に関する理解や支援者として虐待

防止に努める重要な性質、更に利用者の意思決定支

援について、時折ユーモアを交えながらの講義は、とても分かり易い内容でした。

そして、午後からは「どんな支援者になりたいか、あなたの目指す支援者像、利用者と接して

すること」をテーマにグループ討議が行われ、

今回の研修から学んだことを交え、KJ法を使つて

てグループの意見をまとめ上げていきました。

その後、グループ毎の発表に移り、皆が協力し

合ったチームとしての結論を導き出していく姿が

随所に見られ、これから障害福祉専門職を担う

一員としての自覚と覚悟が伝わってきました。

最後に、今回の新任職員研修会は講師の皆様

や協力委員をはじめとするスタッフのご協力によ

り無事に終了することができました。そして、

将来の障害福祉を担う参加者の皆さんのが今後の

ご活躍を願い、ご報告とさせていただきます。

間と情報交換を行

い、更に普段は関わることの少

ない施設長やスタッフから貴

重なアドバイスをいただく機会となりました。

2日目は、「知的障害のある方への支援」新任

職員の心構えと実践」をテーマに、和泉短期

大学 教授の鈴木敏彦氏より講演をいただきました。特に、障

害者権利条約に関する理解や支援者として虐待

防止に努める重要な性質、更に利用者の意思決定支

援について、時折ユーモアを交えながらの講義は、とても分かり易い内容でした。

そして、午後からは「どんな支援者になりたいか、あなたの目指す支援者像、利用者と接して

すること」をテーマにグループ討議が行われ、

今回の研修から学んだことを交え、KJ法を使つて

てグループの意見をまとめ上げていきました。

その後、グループ毎の発表に移り、皆が協力し

合ったチームとしての結論を導き出していく姿が

随所に見られ、これから障害福祉専門職を担う

一員としての自覚と覚悟が伝わってきました。

最後に、今回の新任職員研修会は講師の皆様や協力委員をはじめとするスタッフのご協力をありがとうございました。そして、将来的に障害福祉を担う参加者の皆さんのが今後のご活躍を願い、ご報告とさせていただきます。

# Olympic and Paralympic Games TOKYO 2020

2020東京パラリンピックを目指して  
注目の選手

## パラリンピック 選手紹介 ①

### 男子陸上 田中 康大 (29歳)

2020年いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、知的障害者のパラリンピックでの歴史は浅く(1998年長野冬季が初)、しかも2000年のシドニー大会で海外チームにおいて不正行為が発覚したことで一時知的障害者の参加する全ての正式競技がパラリンピックから排除されました。その後、知的障害者競技の復帰に向けた活動が進められ、ようやく2012年のロンドンパラリンピックにおいて、陸上、水泳、卓球の3種目での知的障害者の出場が認められ、我が国初となる知的障害者の金メダリストが誕生しました。男子競泳100m平泳ぎで出場した田中康大さんです。

世界新を樹立し、金メダルを獲得した田中さんへの帰国後の注目は予想を大きく超えるものでした。自閉症でもある彼は周囲の環境の急激な変化に対応しきれず、競技生活も危ぶまれるほど調子を落とした時期もあり、4年後のリオ大会では4位、ここ数年は日本での選考会でも結果に結びつかないこともあります。

現在、29歳になった田中さんは今もあかね園に通いながら2020東京パラリンピックへの出場を目指します。「心身のバランスのちょっとした“ズレ”がタイムに大きく表れる」(母談)、以前は本人からも「心に石があります」と気持ちの葛藤を表現して



いた頃もありましたが、様々な課題を乗り越え、今年に入ると200m平泳ぎでは2度も世界新記録を更新するなど調子を上げ、本来の調子を取り戻しつつあります。

時には早朝から夜遅くまで、一日8時間以上にも及ぶトレーニングに励みながら、合間にはあかね園での作業に汗を流し、休憩時間には大好きな動物のイラスト描きと給食時間にはプロテイン(笑)。日頃の田中さんの「働き」ながら「泳ぐ」懸命な姿からはあかね園でもたくさんの元気と刺激をもらっています。パラリンピック出場に向けては皆で声を大にして応援したい気持ちもありますが、「今は大事な時期」との事(母談)。あかね園一同、ここはグッとこらえて静かに、そして温かく見守っていきたいと思います。

社会福祉法人 あひるの会 あかね園 施設長 松尾公平

## パラリンピック 選手紹介 ②

### 男子陸上 安西 伸浩 (22歳)

安西選手はグループホーム「ふたわ(二笑)」の利用者(男性22歳)です。そして、日中はひかり学園アネックスの支援員として働き、パラアスリートでありながら利用者でもあり、職員でもあるマルチな方です。

安西選手がそもそも横の実会に来たのは4年ほど前でした。その時は、県南の企業に就職が決まり、近くのグループホームから通うことにしていました。ところが、その年の10月、全国障害者スポーツ大会(パラ国体)の陸上競技少年男子1500m走で、断トツで優勝したことから、東京パラリンピックに出るという夢が大きく膨らみました。大会後、母校の安房特別支援学校の先生にその思いをぶつけ、なんと決まっていた就職を蹴り、多古町の企業に本会のグループホームから通うこととし、朝晩や土日、陸上競技の練習に励むこととなりました。そして、より良い環境を求めて、1年後には本会職員として再出発し、現在に至っています。

安西選手は昨年日本記録を樹立し、その勢いを駆ってジャカルタで行われたアジアパラに日本代表として1500mに出場しました。しかし、初の海外遠征ということもあり、実力を出し切れず、メダルは逃してしまいました。

安西選手の現状を見ると、日本ランキング2位、世界ランキ



安西選手(ゼッケン233番)～2019.4 パラ国際大会

ング7位と東京パラリンピックは射程圏内に入れているといえます。しかしながら、オリンピックやパラリンピックのようなビッグなゲームは大会が近づくと一気に記録が上がります。今まででは危ういと考えており、さらなる飛躍が求められます。

今年に入り、モロッコ・マラケシュで開催されたパラ国際大会に出場するなど海外遠征も積極的にいっています。ただ、同大会では銅メダルこそ獲得したものの記録は今一つでした。東京まであと1年余りと迫りました。元100m日本記録保持者岩本先生、全国高校駅伝常連校の成田高校松澤先生等名伯楽の指導もいただきながら、練習と仕事と両立させつつ、来年9月、新国立競技場という大舞台でメダル獲得を目指しています。

社会福祉法人 横の実会 総合施設長 藤崎 明

## 新事業所紹介

社会福祉法人 佑啓会

### ふる里学舎八千代

「ホテルのような空間」をコンセプトに

日中活動については、長年行つてきたボルトの組み立て作業、割りばしの袋入れ、野菜作りに加え、利用者の工賃向上と地域へのアピールに繋がるようパンの製造を始めました。

また、重心の方についてはご家庭の負担軽減を見込んで入浴支援を実施しています。

短期入所は「職・住分離」の考え方のもと、建物3階部分を専用のフロアとし、居室は全室個室・車椅子の方が利用できる一室と緊急時対応可能な部屋を合わせ全8室設けています。「ホテルのような空間」をコンセプトにインテリアを揃えました。誰もがちょっとお出かけに来たような気分で宿泊利用して頂けたらと思っております。

私は含め職員のほとんどは佑啓会で雇用していただきました。時代の流れで形は変わつても、支援が途切れる事なく、続けられる事に感謝しています。これからも地域の皆様の期待に応えられるよう頑張ります。どうぞご指導の程よろしくお願いいたします。

施設長 小原正律

ふる里学舎八千代は、生活介護（定員18名重心5名含む）、就労継続支援B型（定員22名）に単独型短期入所（6名）を併せ持つ多機能型事業所として平成30年4月1日に建物を新築しオーブンをしました。

元々、八千代市福祉作業所として長い歴史があり、公設民営で手をつなぐ親の会が運営をしていました。その頃から建物の老朽化が見られ、建て替えを望む声が上がり、市も検討委員会を設置し準備を進めっていました。結果的に、市が財政難と言う事もあり、公募をして民間で建て替える事になり、当法人が選ばれました。そこで八千代市福祉作業所から新たに、ふる里学舎高津を合わせ二つの事業所が生まれました。

員はそのまま佑啓会で雇用して引き続き慣れた職

ふる里学舎八千代外観

パン製造

### 就労継続支援A型事業所 パレット行徳

成長を支えるのがA型事業所の意義！

株式会社徳正では、就労継続支援A型事業所「パレット（浦安市）」「パレット西船橋（船橋市）」・放課後等デイサービス「なないろ（市川市）」「なないろ西船（船橋市）」を運営しております。パレット開所の経緯と致しましては、浦安市内の方からA型を希望するお声を頂いたのがきっかけで、色々な方々にご相談につけて頂きました。



事業所内



パレット行徳外観

作業内容としては受託作業がメインで、内職系・PC入力作業・出品作業・梱包発送業務・機械によるCD等の研磨業務・商品仕分け・施設外での清掃業務・写真撮影等、多岐に渡っておりますが、まずは色々体験して頂き、適正とご本人の希望を元に作業の方向性を決めつつ、当日の体調や様子に配慮しながら割り振っております。一般就労へのステップアップを希望される方への支援も個別に対応しており、毎年数名が一般就労しております。

まだまだ至らないところの多い事業所ではございますが、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

施設長 渡邊麻衣子

がらなんとか開させていただきました。がたい事に別の地区への開所のご要望を頂いたことから事業所を増やしてまいりました。

パレット行徳は、通りやすい場所というお声から開設しました。

最初から仕事が出来る人を採用するのではなく、その方に合った仕事を準備し、成長を支えるのがA型といふ方針の下、さまざまな種類の仕事をお受けしております。

パレット行徳は、通りやすい場所というお声から開設しました。

最初から仕事が出来る人を採用するのではなく、その方に合った仕事を準備し、成長を支えるのがA型といふ方針の下、さまざまな種類の仕事をお受けしております。

まだまだ至らないところの多い事業所ではございますが、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

支援スタッフ  
から見た!

# わが施設の自慢・アピールポイント⑩

平成20年度から29回にわたり80の“チバ自慢”をご紹介してきましたこのコーナー。今回は2つの“チバ自慢”です!

## 東葛北ブロック・社会福祉法人松里福祉会・こころぼくまつさと

### 事業拡大は取り組んで来た仕事の実績から

松戸市にある就労継続支援B型事業所です。あらねの製造販売や給湯器解体などのリサイクル事業、委託を受け敷地内の管理業務など幅広く仕事をしています。そんな当事業所の自慢は、それらに真摯に向き合いとり組んでいる利用者の皆さんです。

4年前共同受注モデル事業として、松戸市福祉医療センターの洗濯業務を始めました。普段の事業所への通所とは異なり、現地集合解散、他職種との交流、幅広い工程の理解など新しい事への挑戦は不安だらけでした。朝バスを間違え到着しなかった人。洗った洗濯物をきれいにたためずやり直す人。多くの失敗経験をしました。

現在はたためる洗濯物の種類が増えた人が多く、シフトを組むのにもゆとりがうまれました。また後輩が入ってくると自然と教える立場になった人もおり頼もしさを感じます。同病院内では売店の運営も行っています。特色として市内福祉事業所の販売スペースを常設しています。また敷地内除草や環境整備をしたり、カーテンのリースをしたりと事業は拡大しています。

自慢をする場なので……利用者のとり組んできた仕事の実



事業所外観



洗濯業務

績から信頼を得た証だと信じています。

月末に出る翌月のシフト表を受け取る姿はどこか誇らしげで、自分の名前にアンダーラインをひいたり回数をかぞえ盛り上がっています。

「自分の役割がある」

「一緒に仕事をする仲間がいる」

「ありがとうと言われた経験がある」

「工賃が増えた」

「お金の使い方を学んだ」

そこには働く喜びを知った皆さんが多い。

施設長補佐　臼井　準

## 香取・海匝ブロック・社会福祉法人口ザリオの聖母会・聖家族園

### 利用者と家族、そして職員も笑顔で過ごせる日々……を目指して

聖家族園は社会福祉法人口ザリオの聖母会が運営する障害者支援施設です。聖家族園は平成6年4月1日に知的障害者更生施設として開所しました。新法移行に伴い、平成23年10月1日より障害者支援施設となり現在に至っています。利用者50名と共に日々の生活を送っています。聖家族園では障害を個性と捉え、個性を活かしながら笑い合える事を大切に支援しています。「利用者と共に生きる」利用者と家族、職員が笑顔で過ごせる日々を目指しています。

日々の活動では月、火、木、金曜日は作業日となっており、個々にあった活動を行っています。作業班は、しいたけ班、農耕班、工作班、創作班、クリーン班の5つの作業班に分かれています。

聖家族園では、社会生活の充実を図る為、利用者、職員が2:2を基本に「個別外出」を実施しています。利用者の希望に合わせた外出機会を提供し、時には県外まで足を



聖家族園外観



高尾山登山外出にて

運び外出を楽しんでいます。また、1泊旅行や夏祭り、クリスマス会など季節にあった行事を月に1回開催しています。利用者のニーズに合わせ社会生活、日常生活の充実を目指し支援しています。

利用者のより良い生活を地域、家族と連携し支援を提供できる施設を目指したいと思います。入所している方に限らず、地域で困っている方にも手を差し伸べられる施設運営をしていきたいと思います。

副主任　赤澤　侑貴

# 千葉知協トピックス

スポーツ文化委員 千葉 健彦

## 千葉県障害者スポーツ大会開催

令和元年度千葉県障害者スポーツ大会が、5月26日の千葉県総合スポーツセンター陸上競技場での総合開会式を皮切りに知的障害関係では、陸上競技、卓球、ボウリング、の4競技によつて開催されました。

本大会は、10月に開催される「全国障害者スポーツ大会」への千葉県代表選手選考も兼ねており、各競技とも県代表を目指して熱い戦いが繰り広げられ、知的障害関係では、以下の選手が大会記録を更新しました。

### 陸上

男子100m少年…折原巧真(one's)

女子100m青年…鈴木裕貴(ダイバシティ)

女子ジャベリックスロー壮年…作田晴江

(富里福葉苑)

### 水泳

男子25m背泳ぎ青年…成嶋祥弥(柏市)

男子25m背泳ぎ壮年…戸塚健一郎(市川市)

男子25mバタフライ青年…中島啓智(習志野市)

男子50m自由形青年…八重樫 準(市川市)

男子50m背泳ぎ青年…成嶋祥弥(柏市)

男子50mバタフライ青年…中島啓智(習志野市)、

女子25m背泳ぎ壮年…石渡美紀子(袖ヶ浦市)

女子50m平泳ぎ壮年…鈴木千絵子(市川市)

女子50mバタフライ少年…安藤涉(成田市)

### 陸上男子

立津流星、常住優一(以上、安房特別支援学校)、武井利起(浦安市)、永山壱世、

岡田秀幸、加納大聖(以上、one's)、重松颯太、

(印旛特別支援学校)、上出翔太(十条SC)、

渡邊一星(東金特別支援学校)、久保田剛(富

里福葉苑)、植田兼一(佐倉市)

イエンディネル(印旛特別支援学校さくら分

校)、川下葵(安房特別支援学校)、土岐章

子、作田晴江(以上、富里福葉苑)

水泳男子…中島啓智(習志野市)、岡部優大(流

山高等学園)、上村温(我孫子中学校)、

## 事務局便り

事務局長 千日 清

新しい時代令和へ。一丸となつて福祉現場の質を高めていく時代へ。

八月のグループホーム全国大会の準備も大詰め、皆様のお力添えで、成功となる大会に。地域支援部会…とても頑張られております。

今号の編集を始めた丁度その日、山形県沖地震が発生しました。小さな日常から大きな自然災害まで、物や設備、気持ちの備えを整えよう。

### 編集後記

くすのき苑 秋山 直樹



**水泳女子**…鈴木千絵子(市川市)  
**卓球男子**…木川田優大(TOMAX)、鎌形俊(市川大野高等学園)、田中諒(SON)

千葉)

**卓球女子**…松長美代(萤雪学園)  
**ボウリング男子**…菊地孝治(NPOリープ)、鈴木哲郎(八千代青年スポーツクラブ)、鈴木政徳(茂原市)

**ボウリング女子**…友田彩花(君津市)  
**フライングディスク男子**…西城師(富里福葉苑)、田中秀治(ふる里学舎)、谷田川竜翔(市川市)

**フライングディスク女子**…龜山友利(佐倉福葉苑)、勝股美和(八日市場学園)

**ソフトボール**…松井広大、鰐江周平(以上、市川市)、古川将行、三浦有馬(以上、船橋市)、宮内透允(大成会幸町ルーム)、福田大生(流山市)、樋口太雅(ふなばし工房)、谷奥大晴(四街道市)、東佳汰(東金市)、五十嵐健輔(八千代市)、境大介(佐倉市)、大木聰、白井淳一(以上、富里福葉苑)、古川透(ふる里学舎)、松下仁(市原市)